

## 6A 病棟

看護師長 常久 幸恵

### 1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 総合周産期母子医療センターとして、安全で質の高い看護を提供する

今年度も病棟内で緊急時シミュレーション(大量出血、輸血、BLS)、NCPR の勉強会を実施し、産科緊急時の対応を実施できており、今後も継続する。

2) BFH 認定施設として、母乳育児 10 か条を遵守し母子にやさしい看護を提供する

今年度は新型コロナ感染症のため、集団指導、育児サークルができず、外来の協力のもと個別指導に切り替えた。母親学級代替の DVD 作成に取り掛かったが、年度内の完成、運用に至らなかった。両親学級代替のパパへのテキストは完成し、外来で配布を開始した。次年度は DVD の完成、運用開始を計画し、評価を行う。さらに集団指導をWeb開催できるように働きかける。このような状況があり、またハイリスク妊産婦の増加がある中でも、今年度の母乳率は、正常新生児においては横ばいとなっており、質の高いケアを実践できていると評価する。令和3年度はBFHの認定継続のための評価申請があり、準備中である。

3) 健全な経営基盤の確立に参画する

他科診療科の受け入れを年間 327 件行ったが、目標の病床数、稼働率に達していない。今後は産後ケア入院などの取り組みを行い、有効な病床の活用を考える。

4) 患者の視点に立った医療安全を推進する

感染予防対策については新型コロナ感染症の周産期マニュアルを作成し、物品の購入や設備の整備をした。また7月から疑似症患者、陽性患者のMFICUでの受け入れ、陽性(疑似症含む)妊婦の帝王切開、時間外の外来対応などのシミュレーションを、自主的に毎月1~2回実施し、その都度、手順の作成・改定を行っている。またいつでもCOVID-19専用病棟に助産師を派遣できるように勤務表の調整を行い、体制を整えている。

### 2. 病床運営状況

表1 令和2年度 病床運営状況

看護単位	収容可能 病床数 (床)	診療科名	月平均		平均在院患者数 (人)
			新入院患者数 (人)	退院患者数 (人)	
6A	46	産婦人科・乳腺甲状腺外科	74.2	104.1	31.0
MFICU	6	産科	8.7	0.3	3.8

看護単位	平均在院 日数(日)	病床利用率 (%)	病床稼働率 (%)	重症加算病床		有料個室		死亡者数 (人)
				病床数 (床)	稼働率 (%)	病床数 (床)	稼働率 (%)	
6A	10.6	67.3	74.8	2	58.9	4	93.2	3
MFICU	25.6	62.6	62.8					

### 3. 看護体制

表2 令和2年度 看護体制 (令和2年4月1日現在)

看護単位	配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
6A	38	PNS <sup>®</sup>	3:3
MFICU	16		2:2

### 4. 看護統計

#### 1) 重症度、医療・看護必要度

表3 令和2年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度Ⅱ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者の割合(%)	28.9	29.2	38.3	38.3	26.7	21.9	33.3	41.7	37.6	36.4	30.8	36.5	33.3

#### 2) 部署データ

表4 分娩・帝王切開・母体搬送件数の推移

	令和元年度	令和2年度
分娩件数	492件	440件
帝王切開件数(再掲)	172件	176件
緊急帝王切開件数(再掲)	102件	99件
母体搬送件数	112件	94件

表5 令和2年度家族指導等

(新型コロナウイルス感染防止のため開催は7~10月のみ)

	参加人数(実施回数)
母親学級	109人(14回/年)
両親学級	21組(7回/年)
わいわいサークル	0人(0回/年)

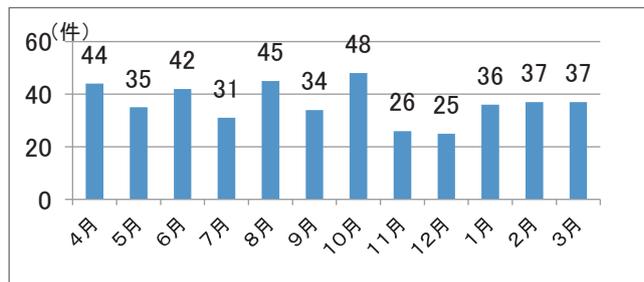


図1 令和2年度月別分娩数

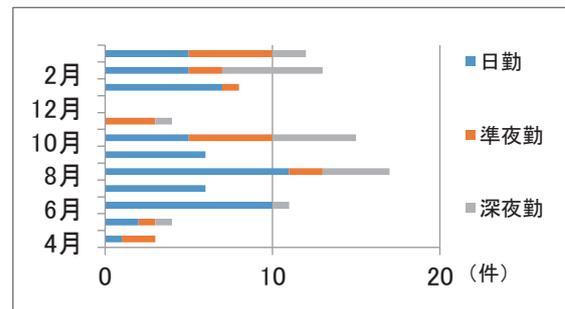


図2 令和2年度勤務帯別緊急帝王切開件数

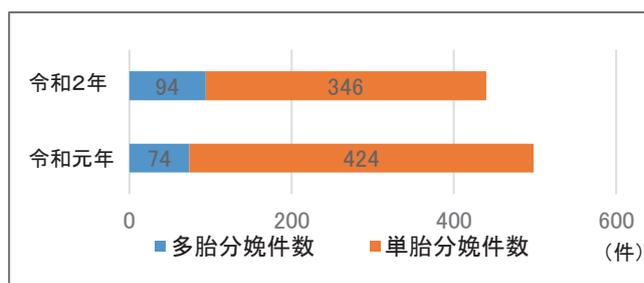


図3 多胎分娩・単胎分娩の件数

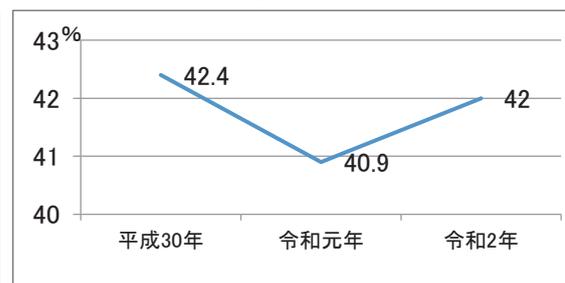


図4 高年齢出産率

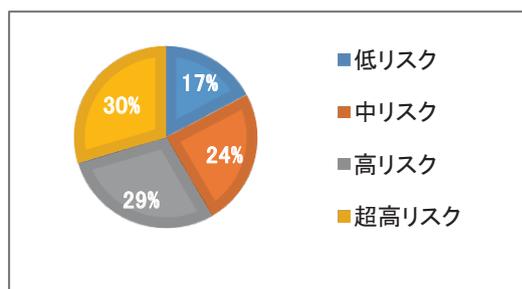


図5 令和2年度妊娠リスクスコア

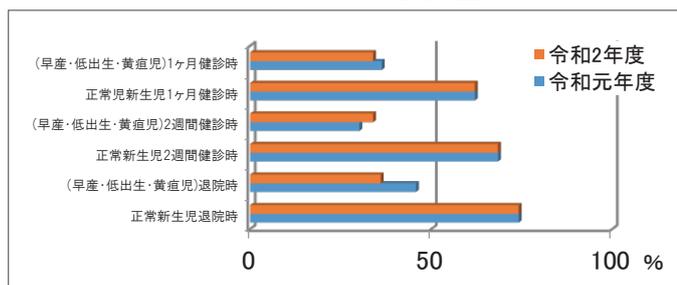


図6 正常新生児、早産児・低出生・黄疸時の母乳率